

「改定蒲田駅周辺地区ランドデザイン骨子」に対する意見募集 実施報告（概要）

- 1 実施期間 令和3年3月11日（木）～3月26日（金）
- 2 設置場所 特別出張所（蒲田東・西）、蒲田駅前図書館、他2か所
- 3 回答数 16件
- 4 主なご意見（分類別）

<基本方針1 活動の創出>

【観光】

- ・ 大田区独自の資産を有効活用して、蒲田に賑わいを創出してほしい。
（例：水上バス・人力車などを活用した、呑川・池上本門寺・洗足池等の回遊）

<基本方針2 都市空間の充実>

【歩行者空間】

- ・ 歩いて楽しいまちにするため、歩行者優先エリアを定め、環境整備する必要がある。
駅ビルだけでなく、周辺の商店街などへの動線も考えてほしい。

【交通】

- ・ 鉄道（新空港線）整備の際は、単に蒲田駅が通過駅として素通りされない工夫が必要。
- ・ 新空港線（地下路線）整備は、蒲田駅周辺の空洞化、JR・東急蒲田駅の乗り継ぎのアクセシビリティの低下が危惧される。
- ・ 地元住民の生活利便性に配慮し、自転車駐輪場を維持・向上してほしい。

【駅・駅前広場】

- ・ 人が集いやすく、イベント等賑わいをもたらせる広場空間を整備してほしい。
- ・ JR・東急蒲田駅から京急蒲田駅までの歩行者通路を整備し、駅周辺の賑わいを創出してほしい。
- ・ JR・東急蒲田駅の東西が分断されている印象がある。東西をつなぐ歩行者空間の整備・民間活力を活用した共同化・建替えの促進等、賑わいのあるまちづくりを目指してほしい。

<基本方針3 安全・快適な環境の確保>

【ユニバーサルデザイン】

- ・ 高齢者や体の不自由な方も利用しやすい環境整備が必要。

【美化・景観】【自然・環境】

- ・ 歩きたくなるまちとして、JR・東急蒲田駅-京急蒲田駅間を下丸子の欒並木のような並木道を整備してほしい。

【防災】

- ・ 自然災害等に対応したまちづくりを計画してほしい。

<その他>

- ・ 計画策定にあたっては、蒲田のまちづくりが区民に伝わるような工夫（表現・構成等）が必要。
- ・ アフターコロナ等、社会情勢の変化に対応した、まちづくりの方向性を示す必要がある。
- ・ 近代的な新たな試みだけでなく、既存の資産を活用し、より効率的・効果的なまちづくりが必要。
- ・ 蒲田のイメージが定着するような都市づくりを進めてほしい。

※ とりまとめ次第、後日ホームページにて区民参画実施報告を掲載予定。